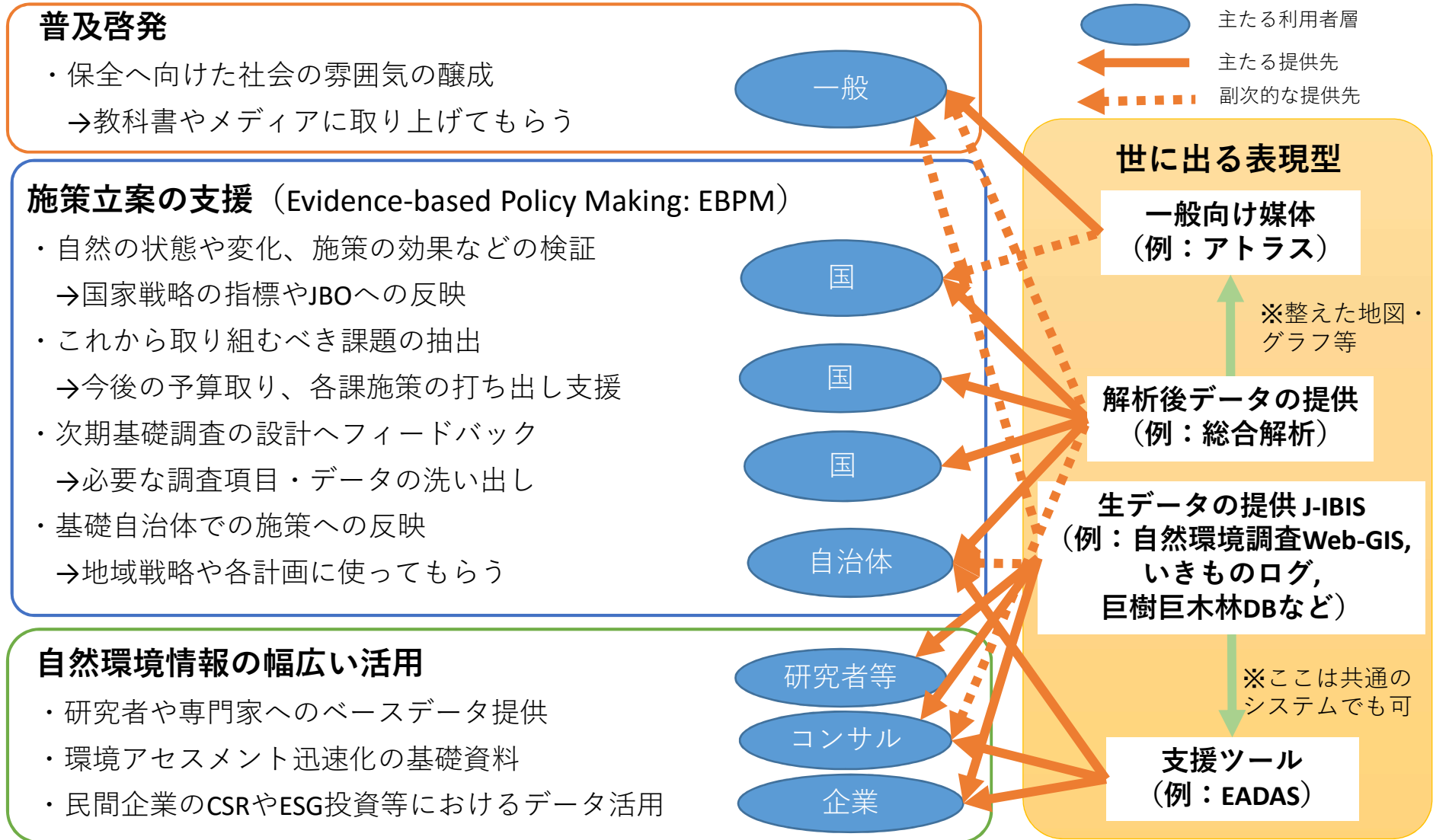


- 基礎調査の成果は、一般に向けた普及啓発、行政の施策立案、専門的な研究、環境アセス、企業活動など、多様な利用者によって幅広く利用されており、今後もその利用が一層進むことが期待されている。
- 利用者層と利用目的によって、求められる自然環境情報のレベルや形態は異なる。それらに適合するように、情報発信媒体や利用を促進するツールを整備する必要がある。



本検討のアウトカムイメージ

2. 基礎調査の推進体制

- 基礎調査は全国的な自然環境に関する基盤情報を収集する環境省の中核的なセンサス調査であり、環境省で実施される課題対応的な他調査と調査設計が異なる。
- 基礎調査には、我が国の自然環境の現状を示す基盤情報を収集・蓄積するとともに、時代の変化とともに移り変わる社会情勢に対応した調査成果の発信が求められる。

